

2013年度 事業報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

特定非営利活動法人 VCAS

前年度に達成された事業成果を基礎にしながら、定款の目的を達成するために4つの事業をすすめてきた。社員全員が専従者でなくボランティアとして関わってきたため、事業をすすめる上で時間や財源について制限があったが、理事会の時間を協議に活用し、他団体との共同・協力を得る等努力してきた。

研究においては都立高校や中学校からの継続した依頼のほか、新たに私立中学校からの依頼によりパートナーシップを組み調査研究を実施。対象を広げてきた。地域のボランティア・NPOと連携して体験学習を推進できた。

また、情報資料収集提供事業では、これまでまとめてきたボランティア・市民活動年表に記載された歴史をより探求的立体的に検証し普及するために、東京におけるボランティア活動のパイオニアともいえるグループと人物に焦点をあて、膨大な資料から研究を行うプロジェクトがすすめられた。

今年度の東京都内では、伊豆大島で発生した台風27号による土砂災害被災者へのボランティア活動支援や大雪による積雪災害などがあり、定例的な会議や予定していた事業開催に支障が生じたこともあったが、年間を通じてこのような取り組みを行ってきたなかで、ボランティア・市民活動を推進する人・活動に興味をもつ人たちへのアプローチとネットワークを着実に広げながら、新たな仲間（社員）も迎えることができた。

(1) 普及啓発事業

○ボランティア・市民活動団体における活動作品の普及啓発

2月8日 市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO2014 における
作業所・NPO・NGOの作品展示販売「ふれあい満点市場」運営
各団体の展示販売ボランティアのコーディネート

会 場：飯田橋セントラルプラザ 10階

*従事者：VCAS社員3名、ボランティア8名

*対象者：ボランティア・市民活動団体12団体及び一般市民

*共 催：東京ボランティア・市民活動センター

(2) 調査研究事業

○高校におけるボランティア体験学習のあり方に関する調査研究

東京都立新宿山吹高等学校の科目「共生をめざすボランティア」の企画運営に協力した。

- ① ボランティアに関する概論・講演と履修説明
- ② 教職員校内研修会
- ③ ボランティアワークショップ
- ④ 夏の1日体験ツアー
- ⑤ 学校・施設・団体連絡会
- ⑥ 文化祭における活動発表・広報
- ⑦ 防災に関するワークショップ

いずれも会場：東京都立新宿山吹高等学校

- ⑧ 上記以外の「共生をめざすボランティア」の時間実施に関する相談・助言及びボランティアグループ・NPO・福祉施設の協力を得るためのコーディネート

東京都立大田桜台高等学校の教科「奉仕」におけるボランティア活動講演への協力
東京都立深澤高等学校におけるボランティア活動講演への協力

○ 中学におけるボランティア体験学習のあり方に関する調査研究

練馬区立開進第二中学校第2学年「福祉とボランティア」の企画運営に協力した。

- ① ボランティア体験活動の団体と連絡調整と紹介活動
- ② 事前学習の企画および発表団体連絡調整
- ③ ボランティア体験活動時の補助活動
- ④ 事前・事後アンケートのまとめ
- ⑤ 発表会

いずれも会場：練馬区立開進第二中学校

- ⑥ 上記以外の授業実施に関する相談・助言及びボランティアグループ・NPO・福祉施設・企業の協力を得るためのコーディネート

私立富士見中学高等学校 中学3年生 ボランティア体験活動の企画運営への協力

- ① ボランティア体験活動の団体と連絡調整と紹介活動
- ② 事前学習の企画および発表団体連絡調整
- ③ ボランティア体験活動時の補助活動
- ④ 事前・事後アンケートのまとめ
- ⑤ 発表会

いずれも会場：富士見中学高等学校

- ⑥ 上記以外の授業実施に関する相談・助言及びボランティアグループ・NPO・福祉

施設・企業の協力を得るためのコーディネート

* 従事者：V C A S 社員 3 名、対象生徒・教員・N P O 約 5 0 0 名

(3) 情報資料収集提供事業

○ボランティア・市民活動の歴史的展開における記録と伝承に関する調査研究

V C A S ボランティア史研究会

「よこいとグループと大槻久子《ボランティア史の里程標》

5 月 20 日、6 月 25 日、7 月 23 日、9 月 29 日、12 月 23 日、1 月 14 日、
3 月 22 日

会 場：飯田橋セントラルプラザ 他

* 従事者：V C A S 社員 7 名

2 月 9 日 市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKY02014

分科会「55 年前のボランティアからのメッセージ

～よこいとグループ・大槻久子が遺した 8 つの言葉～」

出 演：吉澤英子さん、鈴木和子さん、安藤雄太（V C A S 副理事長）

会 場：飯田橋セントラルプラザ

* 従事者：V C A S 社員 7 名

* 対象者：ボランティア・市民活動団体及び一般市民約 30 名

* 主 催：東京ボランティア・市民活動センター

※（大雪の影響により出演者及び内容を一部変更）

(4) ボランティア・市民活動団体の運営・研究活動サポート事業

○ボランティア・市民活動における今日的意義と課題の普及啓発

2 月 7 日～9 日 市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKY02014 における

開催企画・実施への参加協力

実行委員会への委員参加

フォーラム運営ボランティアとしての参加

会 場：飯田橋セントラルプラザ

* 従事者：V C A S 社員 7 名

* 対象者：ボランティア・市民活動団体及び一般市民

開催分科会 37 テーマ、参加者 800 名

* 主 催：東京ボランティア・市民活動センター

※（大雪の影響により一部分科会を内容変更・延期）

○高校生ボランティア記者の情報発信による福祉教育・市民学習

4月～3月 「福祉広報」 Youth 記者による紙面企画・作成への参加協力

会 場：飯田橋セントラルプラザ 他

*従事者：V C A S 社員 2 名

*対象者：高校生及び一般市民

*発 行：東京都社会福祉協議会

○ボランティア・市民活動センター運営委員会への社員派遣

5月～3月 東京ボランティア・市民活動センター運営委員会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

*従事者：V C A S 社員 1 名

*主 催：東京ボランティア・市民活動センター

○福祉教育・ボランティア学習関連会議及び情報紙への協力

8月6日 全国福祉教育推進セミナー

シンポジウム「地域実践から社会的包摂にむけた福祉教育を考える」

シンポジストとして出演

会 場：新霞が関ビル5階 全社協会議室

*従事者：V C A S 社員 1 名

*主 催：全国社会福祉協議会

「ボランティア情報」2013年8月号

題 名：「社会的包括にむけた福祉教育を考える」

*従事者：V C A S 社員 1 名

*発 行：全国ボランティア・市民活動振興センター

(5) 法人運営に関する事業

①総会の開催

5月24日 定期総会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

議 題：2012年度事業報告及び決算

2013年度事業計画及び予算

定款の改正について

役員を選任について

7月17日 臨時総会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

議 題：定款の改正について
 役員の選任について

②理事会の開催

5月24日 第1回理事会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

議 題：正副理事長の選任について
 担当理事・社員の決定（役割分担）について
 各事業の具体的な進行について

7月17日 第2回理事会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

議 題：中学・高校におけるボランティア体験学習のあり方に関する調査研究事業
 の実施について
 活動作品普及啓発事業の実施について
 ボランティア・市民活動の歴史的展開における記録と伝承に関する調査研
 究事業の実施について

12月30日 第3回理事会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

議 題：ボランタリーフォーラムへの開催協力について
 ・中学・高校におけるボランティア体験学習のあり方に関する調査研究
 ・活動作品普及啓発
 ・ボランティア・市民活動の歴史的展開における記録と伝承

3月22日 第4回理事会

会 場：飯田橋セントラルプラザ

議 題：ボランタリーフォーラムへの開催協力結果について
 ・中学・高校におけるボランティア体験学習のあり方に関する調査研究
 ・活動作品普及啓発
 ・ボランティア・市民活動の歴史的展開における記録と伝承
 2014年度事業計画案について